

開倫塾塾生の皆様

1年後、2年後に受験を控えた塾生の皆様は、受験生としての自覚と、自尊心・自制心を持ち、
受験当日まで受験勉強に打ち込もう。学習方法と読解力を身に着けよう

開倫塾
塾長 林明夫

1. <はじめに>

- (1) 開倫塾の創業者で、塾長の林明夫です。今日から春期講習会ですので、開倫塾の責任者として、塾生の皆様に一言ご挨拶（あいさつ）をさせていただきます。
- (2) 開倫塾の使命は、塾生の皆様の「学校成績向上」と「第一希望校合格」を果たし、塾生の皆様の「成功の実現」に貢献することです。
- (3) 「学校成績向上」と「第一希望校合格」を果たすために、大切なことが5つあります。そこで、今日は、そのお話をいたします。

2. <自覚をもって学ぶこと>

- (1) ものごとをするときには、自分はいったい何者か、何のためにここにいる、何のためにこのことをするのだろうか、「自覚」をもってすることが大切です。
- (2) 学校や開倫塾、家庭で学ぶときも、ぜひ、「自覚」をもって学んでください。
- (3) 特に、1年後、または、2年後に受験を控えた塾生の皆様は、「受験生としての自覚」をもって受験勉強に励むことを、お勧めすると同時に、お願いいたします。

3. (1) ただし、正確に言うと、受験学年の皆様にとって、受験は1年後ではありません。多くの入学試験は、来年、2018年の1月にありますので、入学試験まで9か月余りしかありません。受験は9か月後です。

- (2) これからの9か月間には、驚くほど多くの、一つ一つ確実に乗り越えなければならないことがらがあります。例えば、
 - ①何回かの定期試験（学校成績決定）
 - ②何回かの業者模試（実力判定・偏差値測定）
 - ③何回かの三者面談（受験校決定）
 - ④3大検定（受験に直結・内申点アップ）
 - ⑤複数校の入学試験受験

などです。これに、部活動や学校行事が加わります。

- (3) これらの乗り越えなければならない一つ一つのことがらを、開倫塾では、学習面を中心に全面的にサポートいたしますので、どうか、ご安心ください。

4. (1) ただし、「受験生としての自覚をもって学ぶ」ことが、「学校成績向上」と「第一希望校合格」の「絶対条件」です。

- (2) どうか1日も早く、「自分は9か月後に受験を控えた受験生である」ことを、しっかりと「自覚」して、受験当日まで受験勉強に励んでいただきたいと、強く要請いたします。
- (3) 「受験生としての自覚」が欠如する（欠ける）と、どうなるか。

5. (1) 受験学年に入ると、学校成績や模擬試験の結果に基づき、様々な進路選択、特に、受験上の手続きが次から次へと進みます。

- (2) この動きは余りにも速いので、あっという間に夏休みが終わり、冬休みが終わってしまい、1月の受験に突入。
- (3) いったい自分は何をしているのかわからない間に、受験結果の発表の日を迎えることになります。
- (4) うまく合格しても、受験生としての自覚をもって受験勉強をしていない場合には、たまたま合格しただけですので、十分な知識が身に着いていないために、進学先での教育に耐えられないことも多々あります。
- (5) 「自覚をもつこと」。特に、受験を控えた塾生の皆様は「受験生としての自覚を持ち、受験勉強を」。これが開倫塾からの第1番目のアドバイスです。

6. <自尊心>をもつこと

- (1) 「学校成績向上」と「第一希望校合格」を果たすための第2番目のアドバイスは、「自尊心」をもつことです。

(2) 「自尊心」をもつとは、「プライド」(誇り)をもって行動するという事です。

*決して自分は一番偉いといばることではありません。傲慢(ごうまん)と、「自尊心」とは、まったく違います。

(3) 「自尊心」とは、「高い志(こころざし)をもつこと」、「志(こころざし)高く生きること」です。

7. (1) 具体的には、

- ① 「自己責任」(他人のせいにはしない)(自分で行ったことには自分で責任を取る)
- ② 「自助努力」(自分の身は自分で助ける)
- ③ 「開拓者精神」(自分の未来は、自分で切り開く)
- ④ 「ネバー・ギブ・アップ」(あきらめたらおしまい)

(2) また、例えば、

- ① この問題は、自分の力で絶対に解いてやるぞ
- ② この章は、最後まで予習しきるぞ
- ③ 授業には、絶対に遅刻・欠席・早退しないぞ
- ④ 予習・復習は、何が何でもやりきるぞ
- ⑤ 部活動も、最後までやりきるぞ

8. (1) このように、「自尊心」とは、最終的には、「自分の潜在能力を自分で見出し、自分の力で最大限に引き延ばす」ことと考えます。

(2) 塾生の皆様も、ご自分で、「自尊心とは何か」、「自分自身を自分で尊ぶ、大切にするとどのようなことか」を、ぜひお考えください。

(3) 「自尊心」こそが、ありとあらゆる学びの原点です。

9. (1) 福沢諭吉先生は、「独立自尊」を主張しました。

(2) 「独立自尊」の意味は、

- ① 「国民一人一人の独立なくして、国家の独立はない」
- ② 「国民一人一人の独立のためには、国民一人一人が自分自身を尊ぶ心、自尊心をもたなければならない」

ということではないかと、私は考えます。

(3) 福沢諭吉先生の3部作

- ① 「福翁(ふくおう)自伝」
- ② 「学問のすすめ」
- ③ 「文明論の概略」

この3冊に、以上のことがよく書いてあります。まだお読みでない方は、ぜひご一読を。「自尊心」とは何か、よくわかります。

10. <自制心>をもつこと

(1) 「学校成績向上」と「第一希望校合格」のための第3番目のアドバイスは、「自制心」をもつことです。

(2) 世の中には、面白いこと、おかしいこと、興味が惹かれることがあふれ返っています。目にしたこと、耳にしたことのすべてに反応し、あれもほしい、これもしたいでは、体はいくつあっても足りません。時間も、お金も、エネルギーも足りなくなります。

(3) ①自分の置かれている立場はいったい何なのかという「自覚」に基づき、

②これだけは自分の力で成し遂げようという「自尊心」をもって、

③このことだけはやらないぞという「自制心」があれば、自分の希望の多くは可能となります。

(4) ①このことは必ず行う

②このことは決してしない

自分自身で、自分の行動についてのルールを決め、それを守り通す。これが「自制心」です。

(5) 「学校成績向上」と「第一希望校合格」の実現のために

①これだけは絶対に行う

②これだけは決してやらないことは何かを、ぜひご自分で考えて決定し、少しずつでも実行に移してください。

11. <学習方法>と<読解力>を「身に着ける」

(1) 「学校成績向上」と「第一希望校合格」のための第4番目・第5番目のアドバイスは、「学習方法」と「読解力」を「身に着ける」ことです。この最後の2つのアドバイスである「学習方法」と「読解力」を「身に着ける」ことは、絶対に欠かせません。

(2) 絶対にこれだけは身に着けることの中に、この二つもぜひお入れください。

よろしく願いいたします。

2017年3月28日(火)6時28分